

# PHS端末 “パルディオ312D”

山田伸行\* 村田純一\*  
久米敦也\*  
長谷川昌昭\*

## 要 旨

最近、携帯電話を始めとする移動体通信が急速に普及しつつある。その中でもPHS (Personal Handy Phone System) は、携帯電話に比べて、①音質が良い、②小型軽量である、③使用時間が長い、④利用料金が安い、などの特長がある。また、高速データ通信、文字メッセージなどの新しいサービスが開始され、サービスエリアの着実な拡大とともにユーザーを着実に獲得している。

このような背景の中で、今回、三菱電機では公衆用PHS端末“パルディオ312D”<sup>(注1)</sup>を開発したので紹介する。

主な特長は次のとおりである。

- (1) 32kbps (実効伝送速度29.2kbps) データ通信対応
- (2) 文字メッセージサービス対応
- (3) 電話帳300件 (グループ別ファイリング可能、情報メモ各33文字付き)
- (4) 通話録音、留守録音、音声メモ (20秒4件)
- (5) 仮名文字メッセージ送受信機能あり
- (6) フリップを閉じたままでワンタッチ発信可能 (3件)
- (7) フリップを閉じたままで着信モード変更可能 (“Smart”キー)
- (8) デュアル待ち受け対応
- (9) オフィスステーション対応
- (10) ホームアンテナ対応
- (11) 容積 約88cc, 質量 約84g
- (12) サイズ: 幅38mm×高さ119mm×厚さ23mm

(注1) “パルディオ”は、NTT中央パーソナル通信網株の商標である。



## パルディオ312D

NTT中央パーソナル通信網株納入。容積 約88cc, 質量 約84g。サイズ: 幅38mm×高さ119mm×厚さ23mm。32kbpsデータ通信、文字メッセージサービス、オフィスステーションサービス対応。